



ODA

はつこう しゃかいふくしほうじんおきなわけんしんたいしょうがいしゃふくしきょうかい へんしゅう ほうぶじりつせいかつ せん た きらら
発行：社会福祉法人沖縄県身体障害者福祉協会／編集：北部自立生活センター 希輝々
おきなわけん なごし おおみ なみ ほんか えん かいひ ふく
〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1／頒価100円 (会費に含む)
TEL/FAX:0980-54-1559 e-mail:kirara20030501@yahoo.co.jp



ほくぶじりつせいかつ きらら
北部自立生活センター 希輝々



やんばらあ〜ねっと



ねん がつだい ぎょう
2011年4月第15号

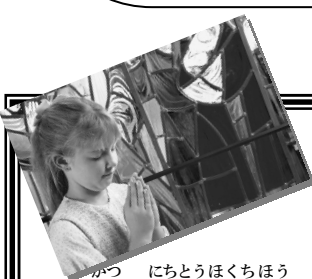
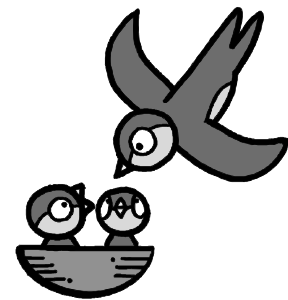


けんみんだいしゅうかい けんちょうまえひろば だいしゅうぎょう
1・31 県民大集会！ 県庁前広場に大集合！

もくじ

やんばらあ〜ねっと だい ごう 第15号

- びー ひさいち ぼきん ねが
P2 被災地への募金のお願い
- びー にちじょう
P3 まあさんの日常
- びー いんくるーし ぶしゃかい じつげん
P4~5 <インクルーシブ社会の実現を>
- びー じゅうどしやう じ いんくるーし ぶきやういく
P6~7 重度障がい児のインクルーシブ教育とは
- びー
P8~10 いんふおめ〜しよん
- びー あいえるびー
P11 おでかけILP
- びー だすきんけんしゅうせいあん れぼーと
P12~14 ダスキン研修生アンさんレポート
- びー ぱりあふりーじやうほう
P15 やんばるバリアフリー情報
- びー すたっふ きらら しょざいち せいかいいん
P16 スタッフのひとりごと／希輝々の所在地／正会員、
さんじよかいいん にゆうかい きふ ねが
賛助会員の入会および、寄付のお願い



ひさいち ぼきん ねが 被災地への募金のお願い

かつ にちとうほくちほう たいへいようえんがん しんげん まぐにちゅーど きろく きよだいじしん とうほくちほう
3月11日東北地方の太平洋沿岸を震源とするマグニチュード9.0 を記録する巨大地震で東北地方ならび
かんとうちほう ちゅうしん こうはんい じんたい ひがひ ほっせい
に関東地方を中心に広範囲で甚大な被害が発生しております。

ひがしにほんだいしんさい ひさい みなさま ところ みま もう
このたびの東日本大震災にて被災された皆様に、心よりお見舞い申し
あ どうと いのち うな たい かさ ふか
上げます。また、たくさんの尊い命が失われたことに対して、重ねて深く
く もう あ

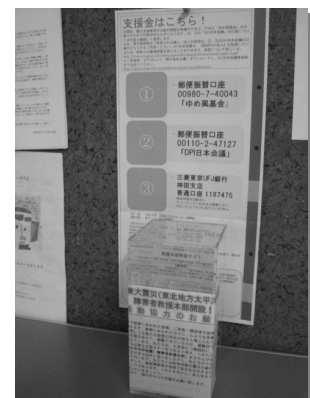
お悔やみ申し上げます。

びりよく ひさい かたがた いまで き ぜんりよく おこな
微力ですが、被災された方々のために今出来ることを全力で行って
おも おきなわ ひがしにほんだいしんさい しやうがいしやきゆうえんほんぶ

きたいと思う、沖縄でも東日本大震災における障害者救援本部への
かつどうしきん ぼきんかつどう いただ
活動資金のため、募金活動をさせて頂きます。

ひさいち いちにち はや ふつきゅう ひさい かたがた えがお もど こと ねが
被災地の一日も早い復旧、被災された方々に笑顔が戻る事を願い、
みなさま りかい きょうりよく よろ ねが
皆様のご理解、ご協力を宜しくお願ひします。

あつ ぼきん でいびーあいーほんかいぎ おく くわ きゆうえんほんぶとくせつさいと らんくだ
(集まった募金はDPI日本会議に送らせていただきます。詳しくは救援本部特設サイトをご覧ください。)



じむしょ ぼきんぼこ
事務所での募金箱

<http://shinsai-syougaisya.blogspot.com/>



にちじょう まあさんの日常



じりつせいかつせんたー かいしよしき ——— 自立生活センターまんだ 開所式 ———

じりつせいかつせんたー かいしよしき さんか けんない りとう
自立生活センターまんだと介護事業所paiが立ち上がるということで4月1日開所式に参加してきました。県内の離島
じりつせいかつせんたー はつ たいへんよろこ おも
での自立生活センターは初となっていますので、大変喜ばしく思っています。

かいしよしき せいてん めぐ どうじしゃ かんけいしゃ ふくしかんけいきかん かたなどやく めい さんかしや ほんど
開所式ですが晴天に恵まれ、当事者の関係者や福祉関係機関の方等約50名ほど参加者がいて、本土からもお
いわ はな こちょうらん すたんどばな かずし なら
祝いの花、コチョウランやスタンド花が数知れず並んでいました。

じりつせいかつせんたー た あ
自立生活センターまんだを立ち上げるきっかけとな

ねん がつまつ じりつせいかつせんたー いるか
ったのは、2010年6月末に自立生活センターイルカの
かつどう いっかん おきなわけん いんくるーしふしゃかい
活動の一環で、沖縄県をインクルーシブ社会にする
ため しょうがいしゃけんりじょうれいせいいてい しょうめいかつどう

為の障害者権利条例制定の署名活動でうちなー
とらい みやこじま いるか ふくだいひょう ながいけんじろう
TRYで宮古島を、イルカの副代表の長位鎌二郎さ
みやこめんばー おとす さい みやこし ざいじゅう
んらの宮古メンバーが訪れた祭に、宮古市に在住す
しょうがい なかそね じりつ つよ
る障害のある仲宗根さんから「自立したい」という強い
ようほう こた かたち そうだん う いるか りじちょうなが
要望に応える形で相談を受け、イルカの理事長長
いれいこし みやこ で き ほうほう かんが
位鈴子氏も宮古でも出来る方法はないのかを考え、
じゅうど しょうがいしゃ ひとり おお う そだ ぼしよ あ
重度の障害者が一人でも多く生まれ育った場所で当



かいしよしき ようす
開所式の様子

まえ じりつせいかつ てき おも
たり前の自立生活が出来るようにしたいという思いで
じゅんぴ みやこじま かた ぜんこくじりつせいかつせんたー
準備をし、宮古島の方や全国自立生活センター

きょうぎかい ぜんこくしょうがいしゃかいごほししょうぎかい かんけいしゃ しえん う かいしよ こと てき
協議会や全国障害者介護協議会などいろいろな関係者からの支援を受けて開所する事が出来たそうです。

あおしおえん たいしよ じりつせいかつふるぐらむ う なかそね みんな いっしょ がんばりつせいかつ せいこう
青潮園を退所し、これから自立生活プログラムを受ける仲宗根さんは「皆と一緒に頑張り自立生活を成功させた
い。」と話していました。

かいしよ いわ とも じりつせいかつせんたー はってん しょうがいしゃふくし こうじょう きたい いっほんじ かいしよしき お
開所を祝うと共に、自立生活センターまんだの発展と障害者福祉の向上に期待をし、一本締めで開所式を終えられ
ました。

ついしん しんらい ながいけんじろう おな ほんどう みやこじま い ざび おも みやこめんばー
追伸：信頼している長位鎌二郎さんが同じ本島から宮古島に行くことは寂しく思いますが、宮古のメンバーを
み おも いま おも めんばー
見て思ったのですが、今からいろいろなことがあると思いますが、メンバーでいろいろな事を一緒に考
の こ せいちょう おも
えて乗り越え成長していけると思っています。

かけ おうえん ふあいと ふあいと めんばー
陰ながら応援していますのでファイト！ファイト！まんだメンバー☆

みやこじま す とお きれい うみ つ き とき
あと、宮古島の透き通るような綺麗な海で釣りがしたいので来た時はよろしくです。

いんくるーしぶしゃかい じつげん ＜インクルーシブ社会の実現を＞

かがや じょうれい けんみんだいしゅうかい
輝け！みんなの条例！ 1・31県民大集会inおきなわ



あつ なかま おお ちから
集まった仲間たち。多くの力、ありがとうございます。



たいわん ほんど さんかしや
台湾や本土からも参加者がいました。

が がつ にちげつようび しょうがいしゃ けんりじょうれいせいでい けんちょうまえひろば けんみんだいしゅうかい おこな
1月31日月曜日、障害者の権利条例制定にむけて、県庁前広場で県民大集会を行いました。

ごぜんちゅう ちよくせけん ち じ あ しょうがいしゃ けんりじょうれい さんどうしやしよめい なら じょうれいあん とど
午前中は直接県知事に会い、障害者の権利条例の賛同者署名、並びに条例案を届けることができました。

ご こ たいへんさむ なか さんどうだんたい かたがた やく めいあつ じょうれいせいでい おも だんたい ほっぴょう
午後からは大変寒い中、賛同団体の方々が約500名集まり、条例制定にむけての思いをそれぞれの団体から発表し

しゅぶれひこーる おこな
ていただいて、シュブレヒコールを行いました。

たいへんおお かたがた きょうりよく めいぶん しよめい あつ ほんとう
大変多くの方々からご協力をいただいたおかげで、31,371名分もの署名を集めることができました。本当にありがとうございます。

うございました。

こんかい けんみんだいしゅうかい きらら あらがきたいひょう じょうれい おも あびーる おも つ
今回の県民大集会では、希輝々から新垣代表も条例への思いをアピールをさせていただきました。とても思いの詰ま

あびーる ぜんぶん しょうかい
ったアピールなので、その全文を紹介します。

みな
皆さんこんにちは。

なまえ あらかきまさき もう
名前は新垣正樹と申します。

なごし ほくぶじりつせいかつせんたーきらら き
名護市にある北部自立生活センター希輝々から来ました。

ほく さい こうこう じこ せきすいそんしやう くるまいす せいかつ
僕は17歳の頃に交通事故で頸椎損傷になり車椅子の生活になりました。

じぶん けんじょうしや う ぶつう かそく もと そだ
した。それまでの自分は健全者で生まれて、普通に家族の元で育ち、
ぶつう ちいき がっこう かよ ぶじゆう ぶつう こうきょうこうつうきかん
普通に地域の学校に通い、あまり不自由なく、普通に公共交通機関の
ばすの がっこう じぶん い ばしや い おも
バスに乗って学校や自分が行きたい場所に行けたと思います。やりた
こと ちゃれんじ ちいきしやかい
い事があつたらどんどんチャレンジできる地域社会でした。ですが
ちゅうとしょうがいしや ぶん わ
中途障害者となりいろんな不便が分かってきました。

しょうがいしや ぶん しょうへき しょうがいしや しゃかいさんか
なぜ障害者が不便や障壁があるのかは、障害者が社会参加する
だいいつほ しゃかい つく た ぶんり
第一歩をふみにじられてきたからです。これは、社会が作り出した分離



じょうれい せいせい
条例を制定させるぞ～！



じりつせいかつ おきなわけん
自立生活できる沖縄県をつくるぞ！

きょういく そだ おも
教育で育ててきたからだと思います。

というのは、障害者は生まれてしばらくすると、施設の中で教育されて行くので、地域社会に出ると、引きこもりがちで人と接する機会が無くコミュニケーションがとぼしくなり社会参加にとけこめなくなる状況で、社会参加が出来ない環境になるのです。

ですが、どんな障害を持っていても、障害の無い人と同じように人権権利があり、地域の中で皆と同じように教育をうけ育っていかないといけないと思います。

その中でやはりインクルーシブ社会(障がいがある人もない人も共生の社会・障害の無い人と同じように地域で暮らして行く事が当たり前になっていく地域社会)障害の有無に捕らわれず、平等な環境の中で育っていき、様々なことにチャレンジし、希望や夢が持てる社会になっていけたらと思います。

その為に障害者の権利条例が必要で、偏見や差別、排除されることなくチャレンジできる機会があり、環境的にも社会参加がしやすい、共に考え共に理解し成長しあい改善していければ、共に普通に生活していけたら、素晴らしい沖縄県になると思います。

これまで、障害者が中心となり多くの福祉関係者や地域の方々で、条例案が出来るまで意見交換会や、条例の勉強会、うちな~TRY、さまざまな活動を通してきたから、県民の皆様の理解を得られ多くの署名が集まったと思います。

条例が制定され、インクルーシブ社会が促進されていくことで、障害者でも自立生活をしていける沖縄県になる事を願っています。

条例制定へ向けて皆で一緒に頑張っていけたら良いと思います。

沖縄県の条例、障害者の権利条例が出来て、障害の有無に関わらず全ての県民が平等な環境で過ごしやすいようになっていけたら良いと思います。

思いをアピールさせて頂き、有難う御座いました。

いじょう あらがき おこな あびーる ぜんぶん
以上が新垣さんが行ったアピールの全文です。

ぜんこく みな けんりじょうやくひじゅん かつどう おこな
全国の皆さんも権利条約批准にむけてのさまざまな活動を行って
いると思いますが、共に生活しやすい環境になっていけるように、
ちいきかくさ ふつう く で き がんば
地域格差がなくどこでも普通の暮らしが出来るように頑張ってみんな
で日本を変えていきましょう！



じょうらいせいてい いっぽ
条例制定まであと一歩だぞ！



いんくるーしぶきょういく
インクルーシブ教育をめざすぞ！



ちから しゅぶれひこーる
みんなで力をあわせてシュプレヒコール！



しよめい ちじ てわた
署名を知事に手渡す

じゅうどしょう じ いんくるーし ぶきょういく 重度障がい児のインクルーシブ教育とは

がつか なはし きょういくふくしかいかん しょう うむ こども ちいき がっこう まな かんきょう
3月5日、那覇市の教育福祉会館にて、障がいの有無にかかわらず、すべての子供が地域の学校で学べる環境
めざ こうえん しんぼじうむ じゅうどしょう じ いんくるーし ぶきょういく ひら ないかくふしょう しゃせいど
づくりを目指した講演とシンポジウム「重度障がい児のインクルーシブ教育とは」が開かれ、内閣府障がい者制度
かいかくすいしんかいぎいん べんごし おおたにきょうこ こうえん おおさかふとよなかし しきつほうこく いし きょういくかんけいしゃ しょう
改革推進会議委員で弁護士の大谷恭子さんによる講演や、大阪府豊中市の視察報告、医師や教育関係者、障が
じ おや しんぼじうむ おこな
い児の親などによるシンポジウムなどが行われました。

こうえん しんぼじうむ じっさい かいじょう き わか ふたり どうじしゃ こうち いとうよしゆき
この講演とシンポジウムを実際に会場で聞いた若い2人の当事者、幸地にいなさんと、伊藤善是さんが、このとき
かんそう いんくるーし ぶきょういく おも か しょうかい
の感想やインクルーシブ教育についての思いなどを書いてくれましたので、ここで紹介させていただきます。



かいじょうない ようす
会場内の様子

しんぼじうむ とお シンポジウムを通して

こうち
幸地にいな

しょう うむ こ ちいき がっこう まな かんきょう
「障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが地域の学校で学べる環境をつくりたい」

さ がつか なはし きょういくふくしかいかん ひら じゅうどしょう じ いんくるーし ぶきょういく かんが さんか
去る3月5日、那覇市の教育福祉会館で開かれた「重度障がい児のインクルーシブ教育について考える」に参加し

てきました。講演は、内閣府障がい者制度改革推進会議委員

べんごし おおたにきょうこ しょう じきょういく
で弁護士の大谷恭子さんが、「これからの障がい児教育につい

いま せいふ ぎろん はな くだ いし きょういく
て今、政府で議論されていること」を話して下さり、医師や教育

かんけいしゃ しょう じ も おやご いけん こうかん
関係者、障がい児を持つ親御さんが意見交換をする

しんぼじうむ ひら わたし おきなわ
シンポジウムも開かれました。そこで私は、沖縄は

いんくるーし ぶ ほうかつてき きょういく ぜんぜんすす す ちいき
インクルーシブ(包括的)教育が全然進んでおらず、住む地域

しょう ちいき がっこう かよ げんじょう
によって障がいがあると地域の学校へ通えない現状があること

しょう ていど と とくべつしえんがっこう あんないつうち とど
や「障がいの程度を問わず、特別支援学校への案内通知が届

きょういくいいんかい こうしょう しょうかくせい
き、教育委員会と交渉しても、らちがあかない」という小学生の

むすこ も おやご はなし しょうげき う ぎもん かん
息子を持つ親御さんの話に、衝撃を受け、疑問を感じずには

いられませんでした。



すいしんかいぎ おおたにきょうこ こうえん
推進会議大谷恭子さんの講演

こんかい しん ぼ じゅう む とお しょう ふつうがっこう かよ おも おや
今回、シンポジウムを通して障がいがあっても普通学校へ通わせたいと思っている親がたくさんいること、どうすれば
よ なや けんじょう おや おも いた し どうじしゃ わたし のうせいま ひ ししまひしょう
良いのか悩んでいる現状にあること、親の思いを痛いほど知りました。これは当事者(私は脳性麻痺で四肢麻痺障がい
ちょうきより ある ぼこう かのう わたし いけん しょう も ふつうがっこう かよ しょう
です。長距離は歩けません歩行は可能です。)である私の意見ですが、障がいを持つからこそ、普通学校へ通い障
がい ほんにん いこう ベースで学ぶ事が重要だと思えます。いじめなどの他の問題が出てくることもあります、
べんきょう けんじょうじ おな がっこう かよ むり おとな えご す おも べんきょう
勉強についていけないから健常児と同じ学校に通うのは無理だというのは、大人のエゴに過ぎないと思うのです。勉強
でき べんきょう しょう じ とお しょう りゅう べんきょう できない がいねん おや ほう
が出来ないからと、勉強から障がい児を遠ざけるのではなく、「障がいを理由に勉強が出来ない」という概念を親の方か
ら先に捨てて欲しいなと思えます。すぐには結果なんて出ませんが、いつかは必ず理解できるようになるからなんです。
なんねん こ しん しんぼうづ ま おや しん ま えらでいー がくしゅうしょう も
何年かかっても、その子を信じて辛抱強く待つこと、親が信じて待ってくれたおかげで、L D という学習障がいも持つ
わたし いま だいがく かよ
私でも今、大学に通えているのです。

いんくるーし ぶきょういくこうえんかい お
インクルーシブ教育講演会を終えて 伊藤善是

かけつまえ がつ か な はし ふくしかいかん ほう いんくるーし ぶきょういく こうえんかい き い
2ヶ月前の2月5日に那覇市の福祉会館の方でインクルーシブ教育の講演会を聞きに行ってきました。
わたし とくべつしえん がっこう い げんざいこうとうぶ ねんせい いんくるーし ぶきょういく にち はや じつげん
私は、特別支援学校に行っていて現在高等部の2年生ですが、このインクルーシブ教育を1日でも早く実現してほし
いと思えました。その理由は2つあります。1つは、選択ができ、好きな学校に行けるといふところ、2つ目に、支援
がっこう けってん こくふく しょうらいてき おお ちから
学校の欠点を克服し将来的にも大きな力になるからです。

め せんたく じぶん す がっこう い ちゅうがっこう いっぱんがっこう しえんがっきゅう
1つ目の、選択でき自分の好きな学校に行けるといふのは、中学校までは一般学校にも支援学級があるのですが、
こうこう しえんがっきゅう おな がっこう い わたし からだ しょう も
高校になると支援学級がないので、みんなと同じ学校に行けないということです。私たちは体のどこかに障がいを持っ
ていてみなさんの力を借りなければ生活ができないのですが、ヘルパーの先生を付けていただければ学習もできます
せいかつ なに おな がっこう い しょうがい も かた じぶん す
し生活もできます。そして何よりみんなと同じ学校に行けるわけです。ですから、障害を持っている方でも自分の好きな
がっこう まな しゃかい おも
学校で学ぶことのできる社会になってほしいと思えます。

め しえんがっこう けってん こくふく しょうらいてき い じつ しえんがっこう せいと
2つ目に支援学校の欠点を克服すると将来的にもいいと言いましたが、実は、支援学校の生徒のほとんどが
こみゆにけーしょん にんげんかんけい にがて こ おお ふつう いっぱんがっこう せいと にんげんかんけい
コミュニケーションや人間関係が苦手な子が多いということです。普通、一般学校の生徒は人間関係とかのおつきあい
しかた じょうず おお にんずう とも せいかつ かんきょう しえんがっきゅう くらす
の仕方が上手にできるのはなぜかという、多い人数で共に生活することにより、その環境から支援学級みたいにクラス
か せいかつ かんきょう あ こうどう せいしんてき にくたいてき めん みんな
を変えたりすることなく生活することから、その環境に合わせた行動をすることができ、精神的、肉体的な面でも皆と
いっしょ なが しんろかんけい もんだい たい しえんがっこう せいと にんずう すく
一緒に長くいることかなれて、進路関係にしてもあまり問題はないのです。それに対し、支援学校の生徒は人数も少な
うえ おやがっきゅう い き すく おや
い上、親学級に行ったり来たりすることがあまり少ないので、親
がっきゅう せいと せつ けってん
学級の生徒とは接しづらいついていう欠点があるわけです。でも
しんろ にんげんかんけい こみゆにけーしょん じょうず
進路になってくると人間関係やコミュニケーションが上手にでき
ながつ せいと おお
ずに長続きしない生徒が多いのです。

おな いっぱんがっきゅう とも がくしゅう せいかつ
ですから、みんなと同じ一般学級で共に学習、生活をするこ
つちか
によって、いろいろなところが培われていくので、そのために
いんくるーし ぶきょういく じつげん こくふく
インクルーシブ教育を実現することにより、この2つが克服され、
しょうらいてき たの にちじょうせいかつ おく
将来的にも楽しい日常生活を送ることができるためにも
いんくるーし ぶきょういく おも
インクルーシブ教育になったらいいなと思えました。



ばねるでいすかつしよん ようす
パネルディスカッションの様子

いんぷおめーしょん

ちいきせいかつしえんじぎょう しょうがいしゃじりつしえんほう なか いちづ かくちほうどくじ ほんだん しょうがいしゃ せいかつ しえん じぎょう
地域生活支援事業は障害者自立支援法の中に位置付けられ、各地方独自の判断で障害者の生活を支援する事業
 こんかい な ご し ちいきせいかつしえんじぎょう しょうかい かつよう
です。今回のいんぷおめーしょんは、ここ名護市の地域生活支援事業を紹介します。みなさん、おおいに活用しまし
よう。

ちいきせいかつしえんじぎょう ■地域生活支援事業

そうだんしえんじぎょう (1)相談支援事業

しょうがい ひと ほごしゃ かいじょしゃ そうだん おう ひつよう じょうほうていきょうとう けんりようご ひつよう えんじょ
障害のある人、その保護者、介助者などからの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を
 おこな じりつしえんきょうぎかい せっち ちいき そうだんしえんたいせい ねつとわーくこうちく おこな
行います。また、自立支援協議会を設置し、地域の相談支援体制やネットワーク構築を行います。
 しいたくそうだんしえんじぎょうしょ

◇ 市委託相談支援事業所

えぬびーおーほうじん な ご ししょうがいしゃかんけいだんたいきょうぎかい NPO法人名護市障害者関係団体協議会 ほくぶしょうがいしゃせいかつしえんせんたー はーもにー 北部障害者生活支援センター ハーモニー	な ご しぐすく 名護市城2-16-12	でんわ TEL:0980-53-1116 ふあつくす FAX:0980-53-1172
えぬびーおーほうじん な ご ししょうがいしゃかんけいだんたいきょうぎかい NPO法人名護市障害者関係団体協議会 ちいきせいかつしえんせんたー うえーぶ 地域生活支援センター ウェーブ	な ご しぐすく 名護市城2-16-12	でんわ TEL:0980-53-1173 ふあつくす FAX:0980-53-1172
しゃかいふくしほうじん いつわかい 社会福祉法人 五和会 ちいきせいかつしえんじぎょうしょ 地域生活支援事業所 うむさばる	な ご しあさうむさ ぼんち 名護市字宇茂佐940番地	でんわ TEL:090-6868-5566

こみゆにけーしょんしえんじぎょう (2)コミュニケーション支援事業

ちょうかく げんごきのう おんせいきのうなど しょうがい いしそつう はか ししょう ひと た ひと いしそつう ちゅうかい
聴覚、言語機能、音声機能等の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人の意思疎通を仲介
 しゅわつうやく ようやくひつき おこな もの はけん しかくしょうがい かた てんじ こえ こうほう はつこう
するために、手話通訳や要約筆記を行う者の派遣、視覚障害の方へは点字・声の広報を発行しています。

あ しゅわほうしんはけん A:手話奉仕員派遣

- あ たいしょうしゃ しない ざいじゅう しんたいしょうがいしゃてちょう も しゅわつうやく ひつよう かた
 (ア) 【対象者】市内に在住の身体障害者手帳をお持ちで、手話通訳を必要とする方
 い ないよう にちじょうせいかつ いとな うえ しゅわつうやく ひつよう ぼあい しゅわほうしん はけん
 (イ) 【内容】日常生活を営む上で手話通訳を必要とする場合に手話奉仕員を派遣します
 う しんせいてつづき はけんきぼう いっしゅうかんまえ しんせい
 (ウ) 【申請手続】派遣希望の一週間前までに申請してください。
 いーめーる ふあつくす う つ
 (E-mail:syuwa@city.nago.okinawa.jp ・ FAX:0980-54-3813 でも受け付けます)

え ひよう むりよう (エ) 【費用】無料

い てんじ こえ こうほうはつこう イ:点字・声の広報発行

- あ たいしょうしゃ しない ざいじゅう しんたいしょうがいしゃてちょう も しかくしょうがい かた
 (ア) 【対象者】市内に在住の身体障害者手帳をお持ちで視覚障害の方
 い ないよう しみん しゅよう じょうほう てんじ おんせい たいしょうしゃ まいつきはつこう
 (イ) 【内容】「市民のひろば」「なぐなぐ」の主要な情報を点字や音声により対象者へ毎月発行します。
 う ひよう むりよう
 (ウ) 【費用】無料

にちじょうせいかつようぐ きゅうふなどじぎょう (3) 日常生活用具の給付等事業

じゅうどしょうがい ひとなど たい じりつせいかつしえんようぐなどにちじょうせいかつようぐ きゅうふまた たいよ おこな
重度障害のある人等に対し、自立生活支援用具等日常生活用具の給付又は貸与を行います。

あ たいしょうしゃ しんたいしょうがいしゃてちよう こうふ う かた
ア:【対象者】身体障害者手帳の交付を受けている方

かいごほけんほう へいせい ねんほうりつだい ごう もと だいい ごうひ ほけんしゃ また だいい ごうひ ほけんしゃ とくていしつべい がいとう かいご
※介護保険法(平成9年法律第123号)に基づき第1号被保険者又は第2号被保険者で特定疾病に該当し、介護が必要な状況の者であって、介護給付により給付を受けるものは当給付を受けることはできない。

い ないよう しょうがい ざいたく かた にちじょうせいかつ ようい にちじょうせいかつようぐ こうにゆう れん たる ひよう
イ:【内容】障害のある在宅の方の日常生活を容易にするため、日常生活用具の購入およびレンタルにかかる費用を、一定の額を上限として助成いたします。

う ひよう げんそく わり ふたん
ウ:【費用】原則として1割を負担することになります。

え しきゅうせいげん つぎ かた きゅうふ う
エ:【支給制限】次の方は給付が受けられません。

あ びょういん にゅういん しせつ にゅうしょ かた
(ア) 病院へ入院または施設へ入所している方

い ようぐ しょうゆ かた
(イ) 用具をすでに所有されている方

う しゃくやとう きょじゅう かた かい しゅうしゃ ようぐ せっち しょうだく え かた
(ウ) 借家等に居住している方で、その家庭の所有者から用具の設置につき、承諾が得られない方

いどうしえんじぎょう **(4) 移動支援事業**

じりつしえんきゅうふ たいしょう がいしゅつじ いどう しえん おこな おくがい いどう こんなん しょうがい ひと
自立支援給付の対象とならない外出時の移動について支援を行います。屋外での移動が困難な障害のある人について、外出時の円滑な移動を支援し、自立生活や社会参加を促します。

あ がいどへるばー
ア: ガイドヘルパー

しゃかいせいかつじょうひつようふ かけつ がいしゅつ よ か かつどうとうしゃかいさんか がいしゅつ がいしゅつじ しえん おこなうさーびす
社会生活上必要不可欠な外出、余暇活動等社会参加のための外出など、外出時の支援を行うサービスです。

あ たいしょうしゃ しかくしょうがいしゃ したいふじゆうしゃ ちてきしょうがいしゃ せいしんしょうがいしゃ いどうしえん ひつよう かた
(ア) 【対象者】視覚障害者、肢体不自由者、知的障害者、精神障害者であって移動支援の必要な方。

い りようしゃふたん りようりょう げんそく わり
(イ) 【利用者負担】利用料の原則1割

い じゅうどうしょうがいしゃいどうしえんじぎょう
イ: 重度障害者移動支援事業

しょうがいしゃ じりつ しゃかいさんか そくしん ほか もくてき じゅうどうしょうがいしゃ くま しょう かた がいしゅつじ りふと
障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とし、重度障害者であって車いす使用の方の、外出時のリフト車両の提供を行います。

あ たいしょうしゃ しんたいしょうがいしゃてちようしよじしゃ か ししょうがいたま ぜんしんせいしょうがいしゃ くま しょう いっぱんこうつう
(ア) 【対象者】身体障害者手帳所持者であって下肢障害又は全身性障害者で、車いすを使用しており一般交通機関の利用が困難な方。

い りようないよう うんこうはんい な ごしな い にち かい りよう
(イ) 【利用内容】運行範囲は名護市内。1日2回の利用。

う りようしゃふたん むりよう
(ウ) 【利用者負担】無料

ちいきかつどうしえん せん た ー き の うきょうかじぎょう **(5) 地域活動支援センター機能強化事業**

しょうがい ひと かよ そうさくてきかつどうまた せいさんかつどう ていきょう しゃかい こうりゅう そくしんなど ほか
障害のある人が通い、創作的活動又は生産活動の提供、社会との交流の促進等を図ります。

ちいきかつどうしえん せん た ー いちかたいたくじぎょうじよ
ア: 地域活動支援センター I 型委託事業所

えぬびーおーほうじん NPO法人 な ご し しょうがいしゃかんけいだんたいきぎょうかい 名護市障害者関係団体協議会 ちいきせいかつしえん せん た ー う え ー ぶ 地域生活支援センターウェブ	な ご し ぐすく 名護市城2-16-12	でんわ TEL:0980-53-1173 ふあつす FAX:0980-53-1172	かつどうないよう 【活動内容】 そうさくてきかつどう 創作的活動 せいさんてきかつどう きかい 生産的活動の機会 しゃかい こうりゅうそくしん 社会との交流促進
--	--------------------------	---	--

い ちいきかつどうしえん せん た ー にがいたくじぎょうじよ
イ:地域活動支援センターⅡ型委託事業所

しゃかいふくしほうじん な ごかくいん 社会福祉法人名護学院 ていさーびす せん た ーふたみ さと デイサービスセンター二見の里	な ごしあぎふたみ ぼんち 名護市字二見241番地7	でんわ TEL:0980-55-8788 ふあつくす FAX:0980-55-8770	かつどうないよう 【活動内容】 にゆうよく そうさくてきかつどう 入浴・創作的活動 せいさんてきかつどう きかい 生産的活動の機会 しゃかい こうりゅうそくしん 社会との交流促進
--	--------------------------------------	--	--

た じぎょう
(6)その他の事業

あ にちちゅういちじしえんじぎょう
ア:日中一時支援事業

しょうがい かた にちちゅう いちじしえん にちじょうてき かいご かぞく いちじてき きゅうそく しえん
 障害のある方の日中における一時支援として、また日常的に介護している家族の一時的な休息などのための支援
 事業です。

い りさいくるじぎょう
イ:リサイクル事業

ふよう ふくしき き ひ と たいよきほうしゃ きかん せつてい たいよ じぎょう
 不要になった福祉機器を引き取り、貸与希望者に期間を設定し貸与する事業です。

う すぽーつたいかい
ウ:スポーツ大会

しょうがいしゃすぽーつ ふきゅう こうりゅう ふか ねん かいかいさい
 障害者スポーツの普及と交流を深めるため年1回開催しています

と あ さき
 ●●●お問い合わせ先●●●

な ごしやくしよ しみんふくしふ しゃかいふくしか しょうがいふくしがかり
名護市役所 市民福祉部 社会福祉課 障害福祉係
 おきなわけんなごしみなといつちようめ ぼん ごう

〒905-8540 沖縄県名護市港一丁目1番1号

でんわ しょうがいふくしがかり ないせん ちよくつうばんごう
電話:0980-53-1212(障害福祉係 内線209/111/124) 直通番号:0980-53-1215

ふあつくす
FAX:0980-54-3813

いーめーる
E-mail:syakaifukushi@city.nago.okinawa.jp



で あいえるぴー お出かけ I L P

こんかい せんげつ みな で あいえるぴー やきにく しよっぴんぐ い
今回は先月、皆でお出かけ I L P で焼肉とショッピングに行っ

てきました。

こと ほったん さいきん みな で な ひさ
事の発端は、最近、皆で出かけることが無かったので久しぶり
に全員でどこかに遊びに行こうと代表の正樹さんに提案したと

ころ、じゃあ、皆でおいしいものを食べに行こう！！ということになりました。

なに た べたいか？どこに行きたいか？等いろんな意見が出ましたが、車椅子が入れて、焼肉が食べれる場所というこ
とで、食事の場所は北谷町にある焼肉五苑、買い物は那覇市新都心。ということに決まりました。

ぜんいん た ほうだい こーす えん えら じぶん す もの えら た じぶん ひさ やきにく
全員で食べ放題のコース1980円を選び、それぞれ自分の好きな物を選び食べました。自分は久しぶりの焼肉だったの
で超うまかったっす。特にハラミはタレが効いてて美味しかったです。



おいしろう

ざんねん しょくじ じかん なが な はししんとしん か もの
残念ながら食事をする時間が長くなってしまい、那覇市新都心で買い物を
たの じかん な きゆうきょ くしかわ さん えー か もの たの
楽しむ時間が無く急遽、具志川のサンエーで買い物を楽しむことになりまし

た。

ひさ ちょうじかん がいしゆつ つか いえ かえ つか
久しぶりの長時間の外出だったので、さすがに疲れました。家に帰ると疲れ
のせいか直ぐに寝ました。

ざんねん たましりょうた たいちようふりよう こんかい さんか
残念ながら、玉城良太さんは体調不良により今回は参加できませんでした。
じかい こんかい ぶん いっしょ たの
次回、今回の分も一緒に楽しみましょう！！



おいしく焼いてね



なに た ど こい
何食べる？何処行く？

さあ、食うぞ



えがお しょくじ
笑顔でお食事！



ほうこく ひ がりゅういち
報告：比嘉隆一

だすきんけんしゅうせいあん れぽーと ダスキン研修生アンさんレポート

がつ にち がつ にち
3月26日-3月30日

りょうあし せんてんせい しょうがい も べとなむ はのいしゅっしん ぐうえん がつぶ あん だすきん あじあたいへいようしやうがい
両足に先天性の障害を持つ、ベトナム、ハノイ出身のグウェン・ガップ・アンさんは、ダスキン・アジア太平洋障害
しゃりーだーいーくせいじぎょう だい きけんしゅうせい しやうがいしや ふくしせいど じりつせいかつせんたー かつどう べんきやう
者リーダー育成事業の第12期研修生として、障害者の福祉制度や自立生活センターの活動について勉強するた
め、そして将来、母国ベトナムで障害者のリーダーとして活躍できるようにするために、2月の中旬から3月末に



ぐうえん がつぶ あん
はじめまして！グウェン・ガップ・アンです

かかけて、沖縄県を訪れていました。その日程のうち、3月26日から30日ま
かかん きらら たいけんしつ しゆくはく けんしゅう おこな あん
での5日間、ここ希輝々の体験室に宿泊しながら研修を行いました。アン
きはら たいざい あいだ しせつけんがく ばりあふりーちえつく
さんは希輝々に滞在している間、施設見学やバリアフリーチェックなどの
けんしゅう おこな かんそう まな まいよ じしん けんしゅう
さまざまな研修を行い、その感想や学んだことなどを毎夜、自身で研修
れぽーと けんしゅうれぽーと
レポートとしてまとめていました。ここでは、そのアンさんの研修レポートを
しゃしん しやうかい しめん つごうじよう いちぶばつすい
写真とともに紹介します。(紙面の都合上、一部抜粋させていただきました。)

がつ にちとようび 3月26日土曜日

きやう ごごじ せんたー
今日、午後6時にきららのセンターへいきました。それからみなさんとながい
しよくじ
食事をしました。
た だいひやう じぶん れきし
食べながらきららの代表、まさきさんはちよつと自分の歴史をはなしました。ま
たの しーあいえる
さきさんは楽しくはなしました。CILをつくる時、ほんとうにたいへんでした、
めい せんたー
おかねもありませんでした。さいしょ3名からセンターをたちあげました。でも、
めんぼー
まさきさんとほかのメンバーはあきらめなかったです。きららのみなさんは、と
たの
てもやさしくて、おもしろいです。とても楽しかったです。



あん かんぱいばーていー
アンさん歓迎パーティー

がつ にちにちようび 3月27日日曜日



ちゆ うみすいぞくかん い
美ら海水族館へ行きました！

けさ いるか めんぼー りゆうきゆうがらす
今朝、きららのみなさんとイルカのメンバーと琉球ガラスをつくるところ
う おきなわ ぐらす
売るところへいきました。沖縄のガラスはとてもきれいで、かわいいです。そ
うみすいぞくかん
れから、ちゆら海水族館へいきました。とてもきれいなところでした。なかに
おお めがねもちのうお
大きくて、おもしろいさかながいっぱいがあります。たとえばメガネモチノウオ
ちんあなご いたちざめ おお さいず
やチンアナゴやイタチザメなどがあります。はじめてこんな大きいサイズのさ
み ときはーとはーと じゃんぷ じゃんぷ
かなを見ました。さいしょ見た時、ハート(heart)がジャンプ(jump)しました。
きやう たの
びっくりしました。今日はとても楽しかったです。

が つ にちげつようび
3月28日 月曜日

け さ じはん すたっふ めんぼー ちゅうしょく た
今朝、11時半にきららのスタッフとメンバーと昼食をしました。食べな
じ こしょうかい ご こ じはん かつどう
がら自己紹介しました。それから、午後1時半にきららの活動のはなし
ねん かつどう びあかうんせりん
をききました。きららは 2003年にたちました。活動はピアカウンセリン
ぐ あいえるびー たいけんがくしゅう い み きぼう
グやILPや、体験学習などです。きららの意味はみんなの希望を
い み しーあいえる かんが かつ
あつめてきららになりました。とてもいい意味です。CILの考え方は
たいせつ ばんめ じこせんたく ばんめ じこけつてい
3つのことが大切です。1番目は自己選択、2番目は自己決定、3
ばんめ じこせきん かつどう びでお み
番目は自己責任です。それから、きららの活動のビデオを見ました。
びでお うみ すいせい びーち
とてもおもしろいビデオでした。みんな海で水泳をしたり、ビーチで
ぼーべきゅー じぶん いけん けいけん めんぼー
バーベキューをしながら、自分の意見とか、経験をほかのメンバーと
はな かつどう ねん かい がつ がつ
話しました。この活動はいつも1年に1回やっています。9月から10月ぐ
だす きんけんしゅう
らいにやります。ちょっとぞんねん、そのときダスキン研修もうおわります。



じむしょ べんきょう
事務所で勉強!

ご こ じはん こでいねいたー か もの でばーと
それから午後6時半にまさきさんとまつもとさん(まさきさんのコーディネーターです)と買い物にいきました。デパートですし
た おきなわ
を食べました。沖縄にはいろいろなすしがあります。ねぎすしとか、やさいすしもあります。おいしかったです。食べながら、
たの じょうだん だいす じょうだん きょう たの
まさきさんとまつもとさんと楽しくはなしました。まさきさんは冗談が大好きです。冗談もじょうずです。今日はとても楽しい
ひ
日でした。まさきさんとまつもとさん、どうもありがとうございました。

が つ にち かようび
3月29日 火曜日



しせつけんがく しょうす
施設見学の様子

け さ いるか すたっふ しょう しゃかんけいだんたいきょうきかい けんがく い
今朝、イルカのスタッフと障がい者関係団体協議会へ見学に行きました。
ちてきしょうがいしゃ しごと せんたー
そこで知的障害者は仕事のくんれんをしています。そのセンターでみん
ばん くつきー
なさんはパンをつくったり、クッキーをつくったり、おもちゃをつくったり、おべん
かつどう ひる
どうをつくっています。いろいろな活動をしています。それから昼ごはん
いるか ひと でばーと た
はイルカの人とデパートでうどんを食べました。それからイルカのスタッフと
な ごりょういくん けんがく い びょういん しせつ
まさきさんと名護療育園へ見学をしに行きました。そこは病院と施設がいつ
じゅうど しょうがいしゃ とくべつしえん
しょになっていました。重度の障害者がいっぱいいます。そこから特別支援
がっこう い きょう けんしゅう しせつ
学校へ行くことができます。今日の研修では施設のこともうすこしわかりま
けいけん
した。いい経験をしました。

が つ にちすいようび
3月30日 水曜日

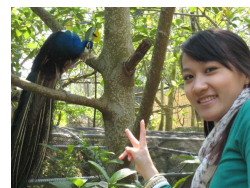
け さ けんしゅう ばりあふりーちえつく きょう けんしゅう わたし すたっふ じ
今朝の研修はバリアフリーチェックでした。今日きららさいこの研修でした。私とまさきさんときららのスタッフと9時
ねおばーく い ねおばーく なか みち さか くるま ひと
にネオパークへ行きました。ネオパークのなかは道がとてもながくて坂でした。もし、車いすの人がひとりであそんだ
おも どり そと けーじ
ら、ちょっとむずかしくてたいへんだと思います。さいしょそこにはいつてから、いろいろな鳥が外にいました。ケージが
ありませんでした。ちょっとびっくりしました。パンをあげてから、いっぱい鳥が私 のまえにいました。とてもおもしろかつ
たです。
ご こ じはん いるか すたっふ すたっふ じゅさんじょ けんがく い しせつ
それから午後1時半にイルカのスタッフときららのスタッフといしなぐ授産所へ見学に行きました。その施設にいろ

いろいろな^{しごと}仕事があります。たとえば木工^{もっこう}をつくったり
 (ネックレスや、いすや、つくえなどです)、織物^{おりもの}をつくったり、お
 はなを植^うえています。とてもいい施設^{しせつ}だと思^{おも}います。木工^{もっこう}のも
 のがとてもきれいでした。施設長^{しせつちやう}から木工^{もっこう}の Spoon^{すぷーん}と
 ネットレス^{ねつくれす}をもらいました。この木工^{もっこう}はとても古い^{ふる}ものでした。3
 00年^{ねん}ですから、いいにおいがあります。

それから、名護学院^{なごがくいん}へ見学^{けんがく}しに行^いきました。その施設^{しせつ}は30
 年^{ねんかん}間^{かん}あります。グループホーム^{ぐるーぷほーむ}とケアホーム^{けあほーむ}もたくさんあります。
 帰^{かえ}るまえに私^{わたし}はひとり^{ひとり}とま^{わたし}っている人^{ひと}とはなしました。私^{わたし}は
 一回^{いっかい}なまえを自己紹介^{じこしょうかい}しました。でもその人^{ひと}は私^{わたし}のなまえを
 すぐおぼえていました。彼女^{かのじよ}は「アンさん^{あん}、またあそんでくださ
 い！」といいました。みんなはとてもやさしくて、あたたかいひと
 です。今日^{きょう}の研修^{けんしゅう}はとてもよかったです。いろいろ^{けいけん}な経験^{けいけん}をしました。いろいろ^{きも}な気持ち^{きもち}がありました。。。



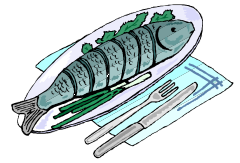
↑ネオパークにて
 ビース！ビース！
 →孔雀とアンさん



じゅさんじよ はいちーず
 いしなく授産所でハイ、チーズ！



ぼりあぶりーじょうほう やんばるバリアフリー情報



なごぎょこうすいさんぶつちよくはんじょ 名護漁港水産物直販所

じゅうしょ おきなわけん なごしぐすくさんちようめ ばん ごう
 ・住所:〒905-0014 沖縄県名護市城三丁目5番16号

でんわ ふあつくす
 ・電話:(0980)43-0175/FAX:(0980)43-0176

いーめーる
 ・E-mail:nagosui@mco.ne.jp

しょうがいしゃせんようちゆうしゃじょう だい
 ・障害者専用駐車場あり(3台)

くるま せんようといれ しゃわーつ
 ・車いす専用トイレ(シャワー付き)

だんさ
 ・段差なし

てーぶるせき めい
 ・テーブル席40名

えいぎょうじかん らすとおーだー
 ・営業時間 11:00~19:00(ラストオーダー18:30)

ていきゆうび ただ ぼん しょうがつ やす
 ・定休日なし(但し、お盆とお正月はお休みです。)



シャワー付き。ラッキー！



まぐる丼、とてもおいしかったです

そと た 外でも食べれますよ



てーぶるせき くるま
 テーブル席なので車いすでも便利



ぱっくがぱやオです！

みせ
お店からのひとこと

あた り でき ばやお み き しょうじ きゆうけい りよう わらい
 新しく出来たパヤオを見に来てください。お食事だけでなく休憩のご利用だけでもどうぞ~(笑)

てん ひが ていしよく
 天ぷらや日替わり定食もおすすめてです！！

ちょうさいんこめんと
◆調査員コメント

てんない ようす すたっふ あか かたがた めにゆー しつもん ていねい たいおう
 店内の様子ですが、スタッフさんも明るい方々でメニューの質問なども丁寧に対応してくれていました。

めいん りようり ぎょこう なか と しんせん りようり あじ さいこう
 メインの料理ですが、漁港の中とあって獲れたてのとても新鮮なまま料理をしてくれるので、味は最高においしかったです。また、ここでは魚介類もそのまま販売しています。

つ たの き なか た
 釣りを楽しみに来ながら、ちょいとお腹すいたらごはん食べるのもいいかも。

といれ よご ととき しゃわー つ ゆで あらなが あんしん
 トイレも汚した時などシャワーが付いていて、お湯は出ないのですが、洗い流せるので安心です。

でーとく わらい
 デートに来るのもいいかも！！(笑)！！

や えんどらむちきん わらい
 とわりにはてんぷら屋さんもあります。おすすめは100円ドラムチキンです(笑)。

へんしゅうこうき 編集後記：すたっふのひとりごと

まつもとまさし
 松元優志

みなさま おきなわ さいきんさむ よわ あたは みなさま ちいき
 皆様こんにちは。沖縄では最近寒さも弱まりだんだんと暖かくなってきておりますが、皆様の地域ではい
 かがでしようか？きれいな桜が待っているところにいきたい今日この頃です。また、新年度にもなりますの
 で、気を引き締めなおして日々精進していきたいものです。

さいきん ひさい かたがた き きらら どうじしゃ かた すたっふ
 さて、最近では被災された方々のことがとても気になっております。希輝々の当事者の方、スタッフにも
 かんけいしゃ たにんごと だいじょうぶ ぶじ せいかつ
 関係者がおりましたので、他人事ではありませんでした。大丈夫かなあ？無事かなあ？生活できているのか
 なあ？私たちが出来ることって何だろう？

これび らじお むだ にゃんす せんでん め みみ なん
 テレビやラジオでは無駄をなくすようにしよう。といったニュアンスの宣伝をよく目や耳にします。何で
 ろう？と思っていたのですが、答えは簡単でした。無駄をなくし、
 しげん ぶっし ひさい かたがた ゆ とど
 資源や物資が被災された方々に行き届くようにする。という
 もくてき
 目的でした。

わたし てき
 なるほど、これならば私たちにも出来る！！

ちい わたし てき ひさい
 小さいことからコツコツと私たちが出来ることを被災された
 かんが ひびす
 かたがたのことを考えて日々過ごしていきたいです。



ほくぶじりつせいかつせんたー きらら 北部自立生活センター 希輝々の

しよざいちあんない
 所在地案内

〒905-0015
 おきなわけんなごしおおみなみ
 沖縄県名護市大南4-8-32-1
 てる ふあつくす
 TEL/FAX 0980-54-1559
 いーめーる
 e-mail : kirara20030501@yahoo.co.jp



せいかいいいん さんじょかいいん にゆうかい きふ ねが 正会員、賛助会員の入会および、寄付のお願い

しーあいえる きらら せいかいいいんおよ さんじょかいいん せつきよくてき さんか つの
 CIL 希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。
 どうかいかつどう こうどうはんい ひる どうかい しゅし さんどう きょうりく
 当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の主旨にご賛同いただき、ご協力
 ねが
 をお願いいたします。

かいひ せいかいいいんねんかん えん さんじょかいいん ねんかんひとくち えん
 会費は、正会員年間5,000円、賛助会員は年間一口5,000円です。

きふきん すいじょう つ みなさま あたは こごし きょうりく ねが
 寄付金は随時受け付けています。皆様の温かいお志とご協力をお願いいたします。

- 振り込み先 郵便口座 17080-8-347321
- 名義 ほくぶじりつせいかつせんたー きらら
 北部自立生活センター 希輝々